

# 阿児町東部地区小学校建設事業

## 太陽光発電設備工事

KUME

SEKKEI

株式会社 久米設計

EST-01	共通特記仕様書 1
EST-02	共通特記仕様書 2
EST-03	電気設備工事特記仕様書 No.1
EST-04	電気設備工事特記仕様書 No.2
EST-05	設計概要・付近見取図
EST-06	配置図
EST-07	屋内運動場棟 平面図
EST-08	立面図1
EST-09	立面図2、断面図
ES-01	太陽光発電設備 特記仕様書
ES-02	太陽光発電設備 系統図
ES-03	太陽光発電設備 1・2・3階平面図

共通事項

① 工事名称：阿見町東部地区小学校建築工事

② 仕様書の適用

③ 設計図書の優先順位

④ 特記仕様書の取り扱い

⑤ 用語の定義

⑥ 発注区分、工事範囲

⑦ 工事区分

工事内容

4 仕上げ関係工事

1 外壁に取付くガラリの製作取付け

2 壁内に取付くガラリの製作取付け（図示による、ドアガラリは建築）

3 現場製作間仕切り及び既設パーティション等への各種機械取付けのための下地補強

4 AD、PS、EPS等の点検口又は扉の製作取付け

5 フリーアクセスフロアの開口

6 換気扇取付用枠及びガラリの製作取付け（換気扇取付は空調）

7 耐火戸及び新建たれ壁用煙感知機動作装置及び制御盤並びに二次側電気工事（一次側は電気）

8 ジャケット用二次側電気工事（一次側は電気）

9 ルーフドレーン及び雨水配水管（建物外一次側接続迄）

10 同上 一次昇以降

11 煙突（内部ライニング及び点検口を含む）

12 同上に接続する煙道製作取付け（各関連工事）

13 システム天井用設備プレート（各関連工事）

14 設備機器類の取付く仕上げ材（石、金属等）の加工

15 機械室、電気室のかさ上げコンクリート及び床仕上げ

16 ユニツトバス、ユニツトトイレ等の出入り口廻縁及び寄階

17 セルラークタクトの加工、取付け（耐火保護を含む）

18 同上 用ヘッダークタクトの加工、取付け

19 コンクリートダクト及びその内部仕上げ

20

5 設備関係工事

1 機械室、電気室等のかさ上げコンクリート及び床仕上げ

2 既設流し台、調理台、ガス台、吊戸棚、フード、洗面化粧台、及び浴付き各種台の製作取付け（トランプ組合物を含む、図示による）

3 同上 給排水管、ガス管接続及び電源接続（図示による）

4 厨房器具の製作取付け

5 厨房器具への配管接続、フード取付け、ダクト接続（各関連工事）

6 壁内に設置するグリウストラップ、ガソリントラップ用の配電（防水火）

7 同上の本体及び内部設置（図示による）

8 ユニツトバス、シャワユニツト、ユニツトトイレ

9 同上機器への配管接続、ダクト接続及び電源接続（各関連工事）

10 洗濯パン、湯水洗浄便座、小便器個別感知洗浄、洗面手洗器自動水栓等製作取付け

11 同上機器への配管接続及び電源接続（各関連工事）

12 便所及び化粧室の大型鏡、鏡、ベビースト等（450×600以下の鏡は衛生）

13 ベーパーホルダー、ペーパータオルホルダー、水石けん入れ等

14 ファンコイルユニツト収納用ベリカウンターの製作取付け

15 同上 吹出口及びファンコイル用架台

16 同上 操作盤、配管配線及びスイッチ

17 ウェザーカバー（建築図にないもの、ベントキャップを含む）

18 排煙口及び煙道通断ダンパーの二次側電気工事（制御盤、非常電源共）

19 同上 制御盤及び二次側電気工事

20 動力制御盤及び二次側電気工事

21 動力送方操作用電気工事及び送方操作盤（各関連工事）

22 消防ポンプ駆動回路及び表示灯回路

23 各種天井吊設備機器の吊補強（各関連工事）

24 各種設備機器、配管の耐震、防震、消音、安全対策等（各関連工事）

25 各種騒音取付けのための下地補強

26 各種設備機器出入口の仮設及び復旧

27 設備機器架台、屋内外設備機器点検用架台（各関連工事）

28 機械警報設備（配線を含む）

29 同上の配管

30 看板、サイン類の一次側電気工事

31 消火器

32 同上の収納ボックス（図示による）

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調 生 気 降 施 造

建 空 衛 昇 外 別

築 調

共通事項

36

工事実績情報の登録

請負代金額が500万円以上(消費税込み)の元請負人は、工事実績情報を(財)日本建設情報総合センターの工事実績情報システム(CORINS)に登録するものとする。  
なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。  
また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。

37

発生材の処理等

■建設副産物情報交換システムの利用  
請負者は受注時において延べ面積が500㎡以上の工事については、工事着手前に「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を監督職員に提出すること。  
また、工事完了後にはJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へ実施報告を行うこと。  
なお、これにより難い場合は、監督職員と協議しなければならない。  
本工事の施工にあたっては、「建築工事における建設副産物管理マニュアル」を参考に適切な処理に努めるものとする。  
  
■特定建設資材の再資源化等  
本工事が、特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法第104号 以下「建設リサイクル法」という。)施工令又は、都道府県が条例で定める建設工事等であって、その規模に関する基準以上の工事(以下「対象工事」という。)である場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。  
なお、本工事における特定建設資材の分別解体等・再資源化等については、別表1又は2、及び3の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「7解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と受注者の間で確認されたものであるため、発注者が積算上条件明示した別表の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によるものではない事項については、この限りでない。工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督職員と協議するものとする。  
また、分別解体・再資源化の完了時に、再資源化等が完了した年月日、再資源化等をした施設の名称及び所在地、再資源化等に要した費用を書面にて監督職員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン(平成14年5月)」に定めた様式1「再資源利用計画書(実施書)」及び様式2「再資源利用促進計画書(実施書)」を兼ねるものとする。  
本工事が「建設リサイクル法」の対象工事外である場合においても前記に準じ適切な措置を講ずるものとする。  
  
建設リサイクル法    ■ 対象工事    ・ 対象工事外

・別表1 建築物に係る解体工事

工程ごとの作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体の方法
・建築設備、内装材等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・屋根ふき材	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・外装材、上部構造部分	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・その他 ( )	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

・別表2 建築物に係る新築工事等( ・ 新築    ・ 増築    ・ 修繕    ・ 模様替 )

工程ごとの作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体の方法
・造成等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・基礎、基礎ぐい	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・外装材、上部構造部分	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・屋根	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・建築設備、内装等	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・その他 ( )	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

・別表3 建築物以外の物に係る解体工事又は新築工事等( ・ 外構    ・ 工作物等 )

工程ごとの作業内容及び解体方法

工 程	作業内容	分別・解体の方法
・仮設	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・土工	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・基礎	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・本体構造	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・本体付属品	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用
・その他 ( )	・ 有 ・ 無	・ 手作業 ・ 手作業と機械作業の併用

手作業・機械作業を併用する理由

建築設備の取り外し	( )
内装材料の取り外し	( )
屋根ふき材の取り外し	( )

・別表4 再資源化等をする施設の名称及び所在地

工程ごとの作業内容及び解体方法

廃棄物の種類	施設の名称	所 在 地
・コンクリート		
・37㍉以上及び鉄から成る建設資材		
・アスファルト コンクリート ・木材		

注) 上記については、積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、提示する施設と異なる場合は、監督職員と協議する。

38

材料の品質等

1)製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書を、監督職員に提出すること。  
2)本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「志摩市公共建築物等木材利用方針」に基づく木材を最優先し、「三重の木」利用推進協議会が認証する「三重の木」やあかね材認証機構が認証する「あかね材」の優先利用につとめること。

39

ワークショップ

モザイクタイル貼 (5日)、ガラスアート (5日) の経費を見込むこと

文書番号673-23、20160715、共通様式

欄記 ・  
・  
・  
・  
・

・  
・  
・  
・  
・

KUMESekkei株式会社 久米設計

日付 2016.02.27

PA 鈴木 浩 確認関係 深井 憲治

担当 小島 工

設計番号

建築設備の設計に関し意見を聞いた者：

建築設備士 登録番号 第06D1-0049LM号 小島 工

一級建築士 登録番号 260004号 矢木 勝美

氏名 阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事

図庫名 共通特記仕様書2 縮尺 -

設計番号 1130461

図庫番号 EST-02

**KUME**  
SEKKEI 株式会社 久米設計

U-167-電機設備工事特記事項

文書番号673-23 20141119 電気特記02

第2章 電力設備工事特記事項		第3章 受変電設備工事特記事項		第4章 電力貯蔵設備工事特記事項		第5章 発電設備工事特記事項																				
① 電線類 ・一般電線、一般ケーブル ○EM電線、EMケーブル（但し規格されていないものは除く） ② 電線保護物類 （1）金属管及び附属品 ○屋外及び床下ビット等の配管は、厚鋼電線管（溶融亜鉛めっき）を使用すること。 （2）PF管、CD管及び附属品 ・躯体打ち込み配管の場合は、（PF28）及び（CD28）を使用しないこと。 （3）金属製可とう電線管及び附属品  また、水廻りや湿気がある場所はビニル被覆付とする。 （4）プルボックス 屋内設置 ○銅板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 合成樹脂製 床下、ビット内等湿気、水気の多い場所 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 合成樹脂製 屋外設置 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 ・ 合成樹脂製 （5）金属ダクト 屋内設置 ○銅板製 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 屋外設置 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 （6）金属トラフ 屋内形 ○銅板製 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 屋外形 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ○ ステンレス鋼板製 （7）ケーブルラック 屋内設置 ○メラミン樹脂焼付塗装 ・ 溶融亜鉛めっき仕上 床下、ビット内等湿気、水気の多い場所 ○溶融亜鉛めっき仕上 ・ ステンレス製 屋外設置 ・ 溶融亜鉛めっき仕上 ○ ステンレス製 保護カバー ・ 屋外形は、点検メンテナンス時にカバー上部に乗ることができるタイプとする。 （8）防火区画等の貫通部に用いる材料 ○防火区画貫通処理は、国土交通大臣認定品を使用する。		⑦ 分電盤、耐熱形分電盤、○A盤、実験盤、開閉器箱 （第2編 1.8.1～1.12.7） （1）キャビネット 屋内設置 ○銅板製（ ・ 指定色 ○標準色） 粉体塗装＋アクリル塗装 または電着塗装＋メラミン塗装以上 ・ 耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 電着塗装 または亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 重耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （2）導電部 ○実験盤は分岐回路毎に、負荷接続端子台及び接地線を接続する端子台を設ける。 （3）器具類 ○単相3線式電路に設ける400A以下の配線用遮断器は、中性線欠相保護機能付とする。なお、過電圧検出リード線の接続点は盤内の中性極導体の末端に近い箇所が望ましい。 ○非常用照明回路に設置する電磁接触器は、瞬時動磁式とする。 ⑧ 制御盤 （第2編 1.13.1～1.13.8） （1）構造一般 ・ 盤表面は、器具類を単位負荷毎にプレートに纏め扉面に取り付ける構造とする。 （2）キャビネット 屋内設置 ○銅板製（ ・ 指定色 ○標準色） 床下、ビット内等湿気、水気の多い場所 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 屋外設置 ・ 一般仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 粉体塗装＋アクリル塗装 または電着塗装＋メラミン塗装以上 ・ 耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 電着塗装 または亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 重耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 9 雷保護設備 （第2編 1.17.1～1.17.4） （1）一般事項 法的適用基準 ・ JIS A4201－2003（保護レベル ・ I ・ II ・ III ・ IV） ・ JIS A4201－1992 （2）突針支持管及び取付金物 ・ 鋼製 ・ ステンレス鋼板製 ・ 黄銅製 ・ ステンレス鋼板製 10 外線材料 （第2編 1.19.1～1.19.7） （1）マンホール、ハンドホール及び埋設機 マンホール、ハンドホール ・ 現場打ち ・ ブロック式 ・ 鉄ふた ・ 化粧用鉄ふた 埋設機 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 ⑨ 施工 （第2編 2.1.1～2.18.2） （1）通線 ○長さ1 m以上の通線を行わない配管には、導入線（1.2 mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。 （2）ケーブル配線 ○駐車場部分に敷設する耐火ケーブルは、ケーブルラックの側面及び下部面を耐火ボード等により保護する。 ○二重天井内のケーブルを集中して束ねる場合は、許容電源について必要な補正を行い、配線の太さに影響を与えない範囲で束ねる。（工事監理指針資料9ケーブル多数敷の計算参照） （3）地中配線 ○電力引き込みケーブル及び低圧幹線ケーブルには、標識シートを設けること。 （4）雷保護設備 一般事項 ○異種金属（銅とアルミニウム等）を接続する場合は、電気的腐食が生じないように接合面にめっき等施す。 引下げ導線 ・ 建築構造体利用 ・ 単独引下げ 接地極 ・ A型接地極 ・ B型接地極 ・ 構造体利用接地極 ・ 構造体利用接地極を採用の場合は、各階にボンディング用バーを設置し、建物全体の等電位化が図れるよう建築物内の金属製工作物及び電力、通信設備をボンディング導体にて接続する。		① 電線類 ・一般電線、一般ケーブル ○EM電線、EMケーブル（但し規格されていないものは除く） ② 電線保護物類 （第6編 1.2.1～1.2.3） ○第2編 1.2.1～1.2.10による。 ③ 配線器具 （第6編 1.3.1～1.3.3） （1）配線器具のプレート ○新金属製 ・ 樹脂製 ・ ステンレス製 ・ その他（ ） （2）光コネクタ（ ・ SCコネクタ ・ FCコネクタ ・ その他） ・ SCコネクタ ・ FCコネクタ ・ その他（ ） ④ 端子盤・機器収納ラック等 （第6編 1.4.1～1.4.7） （1）端子盤等 屋内設置 ○銅板製（ ・ 指定色 ○標準色） 床下、ビット内等湿気、水気の多い場所 ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 屋外設置 ・ 一般仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 粉体塗装＋アクリル塗装 または電着塗装＋メラミン塗装以上 ・ 耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 電着塗装 または亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 重耐塩仕様（ ・ 指定色 ・ 標準色） 亜鉛溶射（アクリル樹脂系塗装） ・ 溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （2）端子類 ・ 端子板は実装とし、仕様は下記とする。 電話用端子板（ ・ G形）、拡声用（ ・ D形）、インターホン（ ・ D形） その他（ ・ B形 ・ D形 ・ E形 ・ F形 ・ G形） （3）UTPパッチパネル ・ ブロック形 ・ モジュール形（ ・ PoE機能無し ・ PoE機能付） （4）通信用SPD ・ カテゴリC ・ カテゴリD （インパルス耐油性 ・ 0.5 kA以上 ・ 1 kA以上 ・ 2.5 kA以上） 5 構内交換装置 （第6編 1.6.1～1.6.9） （1）電源装置 停電補償時間（ ・ 30分以上 ・ ） 6 拡声装置 （第6編 1.9.1～1.9.6） （1）一般事項 屋外スピーカ用SPD ・ 有り ・ 無し （2）その他の岐器 FM用アンテナの材質 ・ アルミ ・ ステンレス鋼 7 テレビ共同受信装置 （第6編 1.11.1～1.11.6） （1）一般事項 受信システム ・ 分岐分配方式 ・ 直列ユニット方式 テレビ信号用SPD ・ 有り ・ 無し （2）機器 テレビ端子及び直列ユニット ・ 2端子形 ・ 1端子形 増幅器、分岐器、分配器等 ・ CS・BS・UHF共用形 （3）アンテナ及びアンテナマスト UHFアンテナ ・ AU－1（アルミ） ・ AU－2（ステンレス） BS・110°CSアンテナ ・ CSBSA－90 ・ CSBSA－75 CSアンテナ ・ CSA－90 ・ CSA－75 アンテナマスト ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 ・ 一般構造用炭素鋼鋼管 ・ 配管用ステンレス鋼鋼管 マスト支持金具等 ・ 溶融亜鉛メッキ鋼材 ・ ステンレス鋼 8 監視カメラ装置 （第6編 1.13.1～1.13.7） （1）一般事項 伝送方式 ・ アナログ伝送方式 ・ ネットワーク伝送方式 ・ 併用形 監視カメラ用SPD ・ 有り ・ 無し 9 駐車場管理装置 （第6編 1.14.1～1.14.9） （1）管制盤（屋外設置の場合） ・ 銅板製（ ・ 指定色 ・ 標準色） ・ 溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （2）検知器（屋外設置の場合） ・ 銅板製（ ・ 指定色 ・ 標準色） ・ 溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （3）信号灯・警報灯（屋外設置の場合） ・ 銅板製（ ・ 指定色 ・ 標準色） ・ 溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （4）発光機（屋外設置の場合） ・ 銅板製（ ・ 指定色 ・ 標準色） ・ 溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 （5）カーゲート制御盤（屋外設置の場合） ・ 銅板製（ ・ 指定色 ・ 標準色） ・ 溶融亜鉛メッキ鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 10 防犯・入退出管理装置 （第6編 1.15.1～1.15.6） （1）制御装置 入退室管理装置の機能は、下記とする。 ・ 施解錠制御 ・ 許可・不許可設定 ・ 設定データバックアップ機能 ・ こじ開け警報 ・ 遠隔施解錠制御 ・ スケジュール設定・制御 ・ 記録機能 ・ 限明・空調制御 ・ 防災・防犯等インテグレーション機能		11 自動火災報知装置 （第6編 1.16.1～1.16.10） （1）一般事項 感知器用SPD ・ 有り ・ 無し （2）受信機 P型受信機 ・ 音機式 ・ 自動試験機能付 R型受信機 ・ 自動試験機能付 ・ アナログ機能 12 自動閉鎖装置（自動閉鎖機構） （第6編 1.17.1～1.17.6） （1）一般事項 ・ 自動火災報知設備の受信機と一体型 13 ガス漏れ火災警報装置 （第6編 1.19.1～1.19.7） （1）一般事項 ・ 自動火災報知設備の受信機と一体型 ・ 単独型 14 外線材料 （第6編 1.20.1～1.20.3） （1）マンホール、ハンドホール及び埋設機 埋設機 ・ コンクリート製 ・ 鉄製 15 施工 （第6編 2.1.1～2.28.2） （1）通線 ・ 長さ1 m以上の通線を行わない配管には、導入線（1.2 mm以上の樹脂被覆鉄線等）を挿入する。 （2）地中配線 ・ 通信引き込みケーブル及び幹線ケーブルには、標識シートを設けること。																				
第7章 中央監視制御設備工事特記事項		第8章 医療関係設備工事特記事項		第9章 その他特記補足事項																						
1 ※設計図による。		1 非接地電源用分電盤 （第8編 2.1.1～2.4.2） （1）一般事項 ・ 非接地電源分電盤は、図中による。 （2）キャビネット ・ 鋼板（ ・ 指定色 ・ 標準色 ） ・ ステンレス鋼板製 （3）器具類 ・ 主幹配線用遮断器及び分岐回路の配線用遮断器に流れる電流を監視する装置を設置する。 ・ 盤内の医用接地センタは、コンセントモジュール（医用コンセント、医用接地端子及び医用接地センタを同一のボックスに収めたもの）内の医用接地センタと14 m㎡以上の太さの接地線で接続する。 （4）施工 ・ 医用室のコンセントは、下記によって電源種別を明示する。 但し、監督員と協議上変更する場合は、この限りでない。 <table><tr><th>電源種別等</th><th>外部表面の色</th><th>追加する表示</th></tr><tr><td>商用電源</td><td>白</td><td>—</td></tr><tr><td>一般非常電源</td><td>赤</td><td>—</td></tr><tr><td>特別非常電源</td><td>赤</td><td>特別非常電源</td></tr><tr><td>瞬時特別非常電源</td><td>赤</td><td>瞬時特別非常電源</td></tr><tr><td>UPSによる瞬時特別非常電源</td><td>緑</td><td>瞬時特別非常電源</td></tr><tr><td>非接地配線式によるもの</td><td>他の配線方式と区別できるようにする。</td><td>—</td></tr></table>		電源種別等	外部表面の色	追加する表示	商用電源	白	—	一般非常電源	赤	—	特別非常電源	赤	特別非常電源	瞬時特別非常電源	赤	瞬時特別非常電源	UPSによる瞬時特別非常電源	緑	瞬時特別非常電源	非接地配線式によるもの	他の配線方式と区別できるようにする。	—	1 結露防止 ・ 結露するおそれがある外壁にやむを得ずボックスを埋め込む場合は、結露防止断熱カバーを取り付ける。また、空気の流通を減少させるためシリコン系コーキング材で電線と電線管並部のすき間を充てんする。 2 放射線防護 ・ 放射線使用室の壁にボックス、盤等を埋め込む場合は、その側面及び背面を厚さ2 mm以上の鉛被覆を施す。 3 気密性 ・ 空気清浄度100,000以下のクリーンルーム室に設ける電線管、ボックス及び及び機器等には、他室との汚染空気の流入を防止するため、シール材充てんや防塵パッキン等で気密性を確保する。 4 遮音対策 ・ 軽量間仕切壁に埋め込むボックス等の開口部には、壁材の遮音性能を著しく低下させることがないように遮音対策を行う。 5 免震建築物対応 ・ 配管、ケーブル等が免震層間を縦断する場合、その最大水平・垂直振幅に追従できる変位吸収装置や配線系長を見込む等の対策を施す。 ⑥ 指定性能・仕様 ○資機材の選定は、製造業者の資機材生産終了工程又は同等新製品への規格移行に對して、その発生・生産時期における指定性能・仕様同等以上の最新機種を選定すること。 ⑦ 幹線種別表示 ○電気室、発電機室、UPS室、EPS等に敷設されるすべての幹線ケーブルには、幹線番号幹線サイズ等を記入したタグを取り付ける。 また、通信ケーブルも同様にタグを取り付ける。 ⑧ ケーブル種別 ○盤二次側のケーブル配線の色わけは下記を基本とし、既製品の色分けもしくはカラーテープ着きにて色別する。 電圧区分 ： 単相（100V、200V）、三相（200V、400V、他） 電源区分 ： AC回路、GC回路、UPS回路、DC回路 ・ 医用接地線とそれ以外の接地線とは、色分けもしくはカラーテープ着きにより色別する。 9 位置ボックス及びジョイントボックス ・ 埋込形コンセントを収める金属製又は合成樹脂製ボックス内に電線及び弱電流電線を収納する場合は、弱電流電線と直接接触しないように隔壁を取り付ける。 10 医療施設の安全基準 ・ 病院電気設備の安全基準は、JIS T1022（最新版）に準じる。	
電源種別等	外部表面の色	追加する表示																								
商用電源	白	—																								
一般非常電源	赤	—																								
特別非常電源	赤	特別非常電源																								
瞬時特別非常電源	赤	瞬時特別非常電源																								
UPSによる瞬時特別非常電源	緑	瞬時特別非常電源																								
非接地配線式によるもの	他の配線方式と区別できるようにする。	—																								

特記 ・ ・ ・ ・ ・	訂正	・	KUMESKKKEI 株式会社 久米設計	日付	2016.02.27	一級建築士 登録番号 260004号 矢永 勝美	件名 阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号	1130461
		・		PA	鈴木 浩 経理 深井憲治				
		・		和監	小島 工				
		・		建築設備の設計に関し意見を聴いた者：					
		・		建築設備士 登録番号 第06D1-0049LM号 小島 工					
					建築設備工事特記仕様書 No.2	図版 A1版 二二 A3版 二二	図章番号	EST-04	

建築主等の概要			
工 事 名 称	阿兒町東部地区小学校新築工事		
建 築 主	〒 517- 0592 三重県志摩市阿兒町駄方3098-22	電 話	0599 - 44 - 0001
住 所 氏 名	志摩市長 大口秀和		
代 理 者	〒 450- 0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8	電 話	052 - 586 - 3301 (代表)
住 所 氏 名	株式会社久米設計 名古屋支店 部長 矢永陽美	一級建築士	大臣登録第260004号
設 計 者	〒 450- 0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8	電 話	052 - 586 - 3301 (代表)
住 所 氏 名	株式会社久米設計 名古屋支店 部長 矢永陽美	一級建築士	大臣登録第260004号
構 造 設 計 者	〒 135- 8567 東京都東区潮見2-1-22	電 話	03 - 5632 - 7877 (代表)
住 所 氏 名	株式会社 久米設計 構造設計部 佐田博基	構造設計	一級建築士 建築士証交付第 7671号
建築設計の請けに当り、監理を兼行する者	〒 450- 0002 愛知県名古屋市中村区名駅3-22-8	電 話	052 - 586 - 3301 (代表)
住 所 氏 名	株式会社久米設計 名古屋支店 副部長 小島 工	設備設計士	登録第 No.06D1-0049LM号
工 事 監 理 者	〒 -	電 話	-
住 所 氏 名	未定		
工 事 施 工 者	〒 -	電 話	-
住 所 氏 名	未定		

建築物及びその敷地に関する事項等

地 名 地 番	志摩市阿兒町甲賀字鹿谷1518番地 他28筆		
住 居 表 示	志摩市阿兒町甲賀字鹿谷1518番地 他28筆		
都 市 計 画 区 域	・都市計画区域内（ ・市街化区域 ・市街化調整区域 ・区域区分非設定 ） ・準都市計画区域内 ○都市計画区域及び準都市計画区域外		
防 火 地 域	・防火地域 ・準防火地域 ○指定なし		
そ の 他 の 区 域 地 域 ・ 地 区 界	・ *** ・ ***		
道 路	○東側：市道 里鹿谷線 幅員： 14.06 m（敷地と接する部分の長さ 40.57 m） ・北側： 幅員： m（敷地と接する部分の長さ m） ・西側： 幅員： m（敷地と接する部分の長さ m） ・南側： 幅員： m（敷地と接する部分の長さ m）		

敷地面積	敷地面積	(1)	35253.25㎡	㎡ ※用途地域等がまたがる場合、各用途地域毎の面積を記述					
		(2)							
用途地域等	(指定なし)	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
建築基準法第52条第1項及び第2項の規定による建築物の容積率	( - % )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
建築基準法第53条第1項の規定による建築物の建ぺい率	( - % )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )	( )
敷地面積の合計	(1)	35253.28㎡							
		(2)	㎡						
敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値	- %								
敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値	- %								
備	考								

主 要 用 途	建 基 法	用途区分记号	小学校 08080
	消 防 法	7 項 ( )	

工 事 種 別	○新築・増築(・既存・棟別)・改築・移転・用途変更・大規模の修繕・大規模の模様替・他( )				
建 築 面 積		申 請 部 分	申 請 以 外 部 分	合 計	備 考

	建 築 面 積	5837.64㎡	㎡	5837.64㎡	
	延 べ 面 積	16.55 %	算定式：( 5837.64	35253.26)00=	16.55%
		申 請 部 分	申 請 以 外 部 分	合 計	備 考
	建物全体	6941.09㎡	㎡	6941.09㎡	
	地階の住宅の部分	㎡	㎡	㎡	
	エレベーター昇降路の部分	9.94 ㎡	㎡	9.94 ㎡	
	共同住宅の共用の廊下等の部分	㎡	㎡	㎡	
	自動車庫等の部分	㎡	㎡	㎡	
	保管倉庫の部分	27.47 ㎡	㎡	27.47 ㎡	
	蓄電池の設置部分	㎡	㎡	㎡	
	自家発電設備の設置部分	㎡	㎡	㎡	
	貯水槽の設置部分	㎡	㎡	㎡	
	住宅の部分	㎡	㎡	㎡	
	延べ面積（容積対象）	6903.68㎡	㎡	6903.68㎡	
	容積率	19.58 %	算定式：( 6903.68	35253.26)00=	19.583%

建築物の高さ等	申請部分	6 階	申請以外部分	0 階	考
	申請部分	申請以外部分	備		
	最高の高さ	14.64 m	m		
	階数	地下 0 階 地上 2 階	塔屋 1 階		
	構造	鉄筋コンクリート造	一部鉄骨造		
・建築基準法第 56 条第 7 項の規定による特例の適用の有無 ・有 <input checked="" type="radio"/> 無 <input type="radio"/> ・適用がある場合の特例の区分 ・道高高さ制限不適用 ・隣地高さ制限不適用 ・北側高さ制限不適用					

許可・認定等	開発許可

工 特 定 工 程	期	工事着手予定日	2018年 8月 1日	工事完了予定日	2018年 2月 16日
	( 第 回 )	年 月 日		基礎検査	
	( 第 回 )	年 月 日		2階梁及び床版筋検査	

その他必要な事項	

## その他の規制

日 影 規 制	・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無	5m	時間	10m	時間	受影面レベル: GL+	m
	周 辺 規 制 値	5m	時間	10m	時間	受影面レベル: GL+	m

そ の 他 の 規 制	・ 騒音規制（ ・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ） ・ 排水規制（ ・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ） ・ 駐車附置（ ・ 有 <input checked="" type="radio"/> 無 ）
そ の 他	


久米設計図面基準枠 20140806 建築概要GAI1\_201

建築物概要	
種 用	名 称 統合・屋内運動場・体育倉庫・物置・防災倉庫・車寄せ・ポンプ室
	用途区分記号 小学校 (08080)
	用途区分記号
工 事 種 別	○新築・増築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替 ・他( )
構 造	鉄筋コンクリート 造 一部 鉄骨 造
耐火建築物	○耐火建築物 ・準耐火建築物 ・その他( )
階 数	地階を除く階数 2 階
	地階の階数 0 階
	昇降機塔等の階の数 1 階 (物見塔)
	地階の倉庫等の階の数 0 階
高 さ	最 高 の 高 さ 13.69m
	最 高 の 軒の高さ 7.27m
	基 準 階 の 高 さ 3.8 m
	基 準 階 天 井 高 2.8 m
建築設備の種類	<input type="checkbox"/> 換気設備 <input type="checkbox"/> 給排水設備 <input type="checkbox"/> 消火設備 ・ 排気設備 <input type="checkbox"/> 電気設備 <input type="checkbox"/> 避雷設備 <input type="checkbox"/> 非常用照明設備 <input type="checkbox"/> 昇降機設備 ・ 機械駐車設備 ・ その他( )
確 認 の 特 例	建築基準法第6条の3 第1項の規定による確認の特例の適用の有無： ・ 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
	適用があるときは、建築基準法施行令第103条の2各号に掲げる建築物の区分： 第 号
	建築基準法施行令第10条第1号又は第2号に掲げる建築物に該当するときは、当該認定形式の認定番号： 第 号
	建築基準法第68条の2第81項に掲げる認証型部材等に該当するときは、当該認証番号：
屋 根	コンクリート金コテ押入+アスファルト露出防水 (内断熱)
	コンクリート金コテ押入+均しモルタルt20+フッ素樹脂バリアムt0.45構造段差<内断熱> <校舎側>
	鉄骨下地+木毛セメント板t40+断熱材t60+フッ素樹脂バリアムt0.45構造段差<屋内運動場>
	コンクリート金コテ押入+ウレタン塗膜防水 (物見塔、テラス1・3：X-1、バルコニー、多目的室屋根、テラス2、庇、笠木：X-2)
外 壁	コンクリート化粧打放し補修 (一部り付化粧型枠) +フッ素樹脂カラークラークア塗装
	押出成形セメント板t60フラット (一部り付パネル) +フッ素樹脂カラークラークア塗装<屋内運動場>
軒 裏	コンクリート化粧打放し補修+フッ素樹脂カラークラークア塗装
	金属部分：フッ素樹脂バリアウム鋼板 サイディング横貼<校舎側>
	金属部分：屋根同材加工+合板t15下地 (一部アルミパネルt2.0加工FUB) <屋内運動場>
建 具	アルミサッシ (B-2種) ・ アルミカーテンウォール (B-2種)
	アルミ製 窓框 (パンドレス)
外 構	インターロックグブロック (歩道) ・ 透水性アスファルト舗装 (車道)
居 室 の 床 の 高 さ	設計GL+40 mm
使 用 の 種 類	水洗

その他

駐 車 施 設	・ 住宅用途設置台数	普通車用	台	(内 機械式	台)
		小型車用	台	(内 機械式	台)
		障害者用	台	(内 機械式	台)
		合 計	台	(内 機械式	台)
			≧設置義務台数	(	台)
	○ 非住宅用途設置台数	普通車用	152台	(内 機械式	台)
		小型車用	0 台	(内 機械式	台)
		障害者用	3 台	(内 機械式	台)
		バ ス	3 台	(内 機械式	台)
		合 計	158台	(内 機械式	台)
		≧設置義務台数	(	台)	
駐 輪 施 設	・ 住宅用途設置台数	平置式	台	(内 機械式	台)
		傾斜フラック式	台	(内 機械式	台)
		2段式	台	(内 機械式	台)
		合 計	台	(内 機械式	台)
			≧設置義務台数	(	台)
	・ 非住宅用途設置台数	平置式	台	(内 機械式	台)
		傾斜フラック式	台	(内 機械式	台)
		2段式	台	(内 機械式	台)
		合 計	台	(内 機械式	台)
			≧設置義務台数	(	台)

申請部分	合 計	備 考
校 舎 + 屋内運動場	5745.2㎡	
体育倉庫	41.69㎡	
物 置	9.92㎡	
防災倉庫	27.47㎡	
車 寄 せ	7.30㎡	
ポンプ室	6.00㎡	
合 計	5837.6㎡	

申請部分	1階	2階	塔屋	合計	備考
校舎	4161.4㎡	1549.7㎡	76.01㎡	5787.1㎡	
屋内運動場	1068.8㎡			1068.8㎡	
体育倉庫	41.69㎡			41.69㎡	
物置	9.92㎡			9.92㎡	
防災倉庫	27.47㎡			27.47㎡	
車寄せ	0.00㎡			0.00㎡	
ポンプ室	6.00㎡			6.00㎡	
合計	5315.3㎡	1549.7㎡	76.01㎡	6941.0㎡	

・面積求積図は別図による

---

## ■ 図面記号凡例

一般図凡例	
D.GL	: 設計地盤面
AV.GL	: 平均地盤面
GL	: 標準地盤面
FL	: 床面上面
SL	: スラブ天盤面
CH	: 天井高
BM	: ベンチマーク
BWL	: 地下水位
t	: 厚

ELV	: エレベーター
ES	: エスカレーター
HC	: 障害者用トイレ
OHC	: 障害者用トイレ（オストメイト）
SK	: 掃除流し

AD	:	エアダクトシャフト
PS	:	パイプシャフト
EPS	:	電気配管シャフト
OA	:	給気シャフト
EA	:	排気シャフト
DS	:	ダクトスベース
FD	:	フロアードレーン
RD	:	ルーフドレーン
DP	:	堅橋
CM	:	煙突
SS	:	シャッター

---













案内図及び周辺環境図 縮尺= 1 : 5000 (A1)



## ■ 一般材料記号凡例

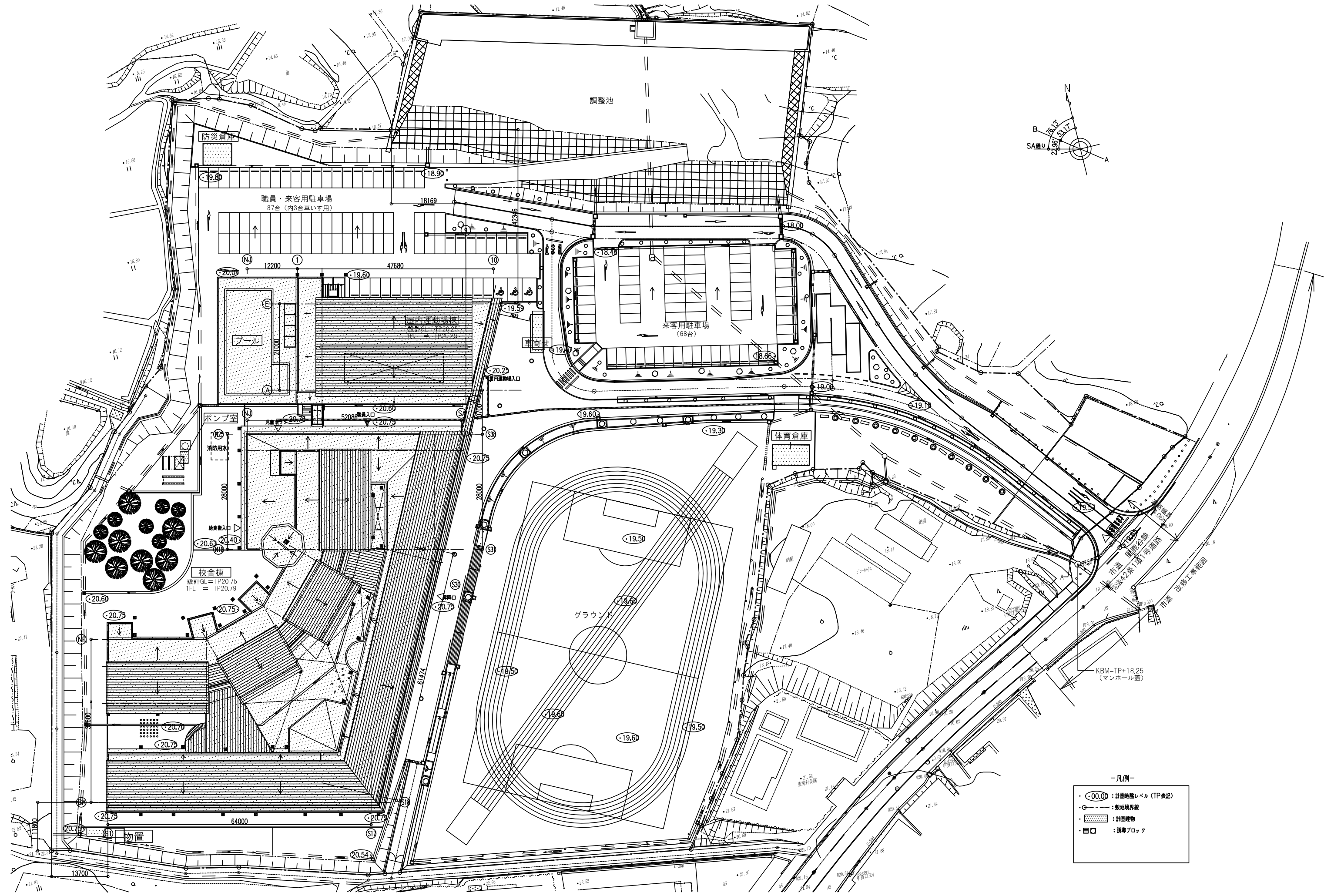
材料凡例	材 料 名
SUS	ステンレススティール
HL	SUSへアライン#4
ML	SUS鋼面#
VB	SUSバイブレーション（無方向へアライン仕上）クリア塗装
DUL	SUSダル仕上
2D	SUS2D仕上
ST	スティール
AL	アルミニウム
A	AL陽極酸化被膜処理（無色）
AC	AL電解着色処理（色）
TB	テラゾーブロック
MP	メラミン化粧板
GB	せっこうボード類の総称
FK	無石綿セメントはい酸カルシウム板
PF	ポリスチレンフォーム保温板
RW	ロックウールボード
GW	グラスウール
GWB	グラスウールボード
CLK	ソーリング材
LGS	軽集鉄骨
RC	鉄筋コンクリート
CB	コンクリートブロック
PC	プレキャストコンクリート
ALC	軽集気泡コンクリートパネル
FB	フラットバー
ECP	押出成形セメント板
FRC	繊維補強コンクリート
TC	タイルカーベット
W	木

## ■ 記号凡例

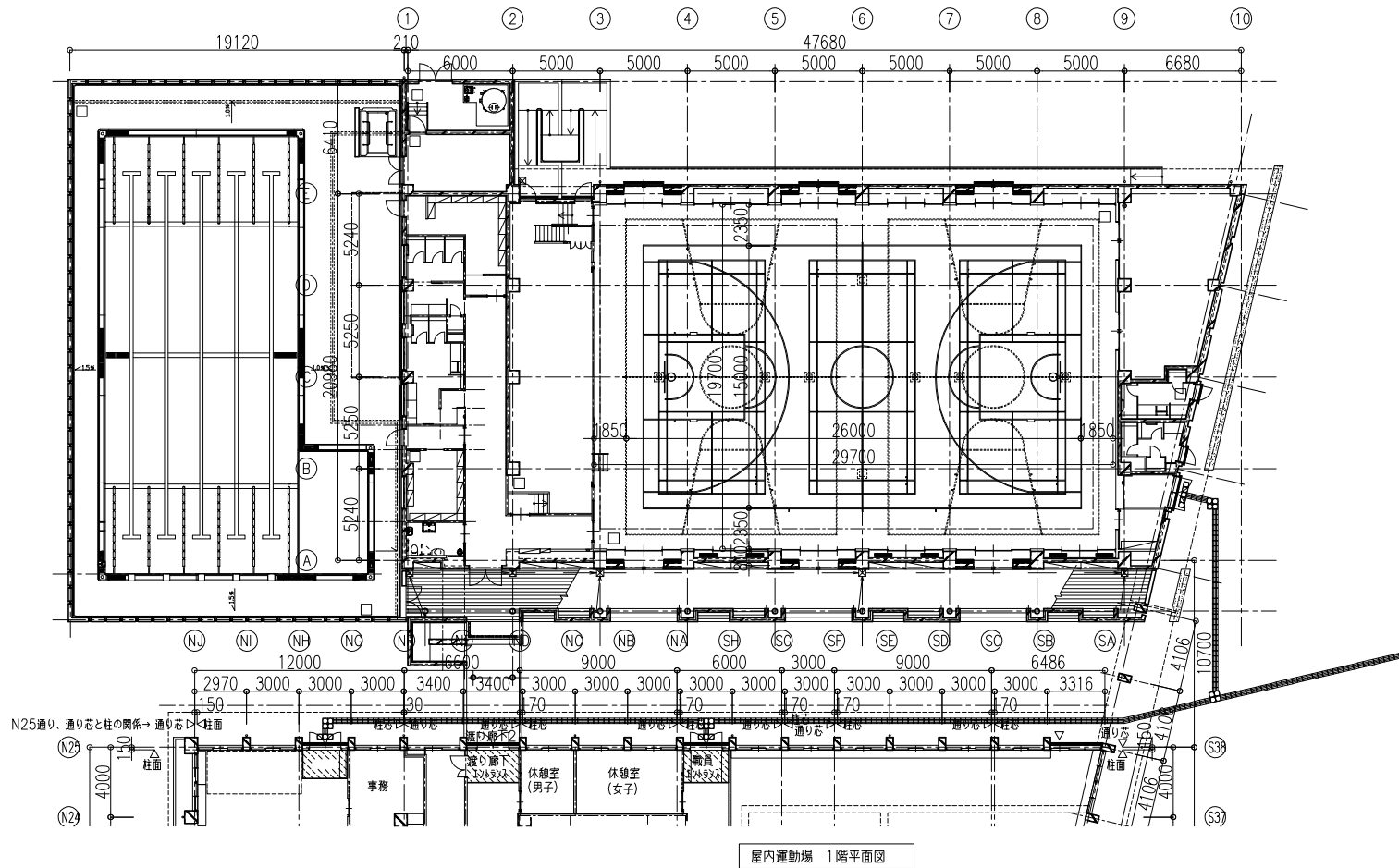
	— 上段仕上レベル — 下段躯体レベル
詳細図引出記号	
	— 図面番号 — ディテール番号
交差標準詳細図引出記号	
	— 第1分類番号 — 第2分類番号・詳細番号
国交省標準詳細図分類番号	
	
床点線口	
	材仕：角形
	材仕：丸形
	材仕：仕様 防：防臭・防水型
	格：格子型
	化：化粧用
	二化：二重化粧用
	材料 C：鋳鉄製
	S：ステンレス製

特記	-	KUMESKKEI 株式会社 久米設計	日付	2016.02.27	一級建築士 登録番号 260004号 矢永 勝美	件名	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号	1130461
.	-		PA	鈴木 浩 奥井 憲治					
.	-		事務	櫻木 博幸、園田 一成	建築設備の設計に関し意見を聞いた者：		図解名	概大	図解番号
.	-				建築設備士 登録番号 第06D1-0049LM号 小島 工			設計概要・付近見取図	EST-05
.	-								

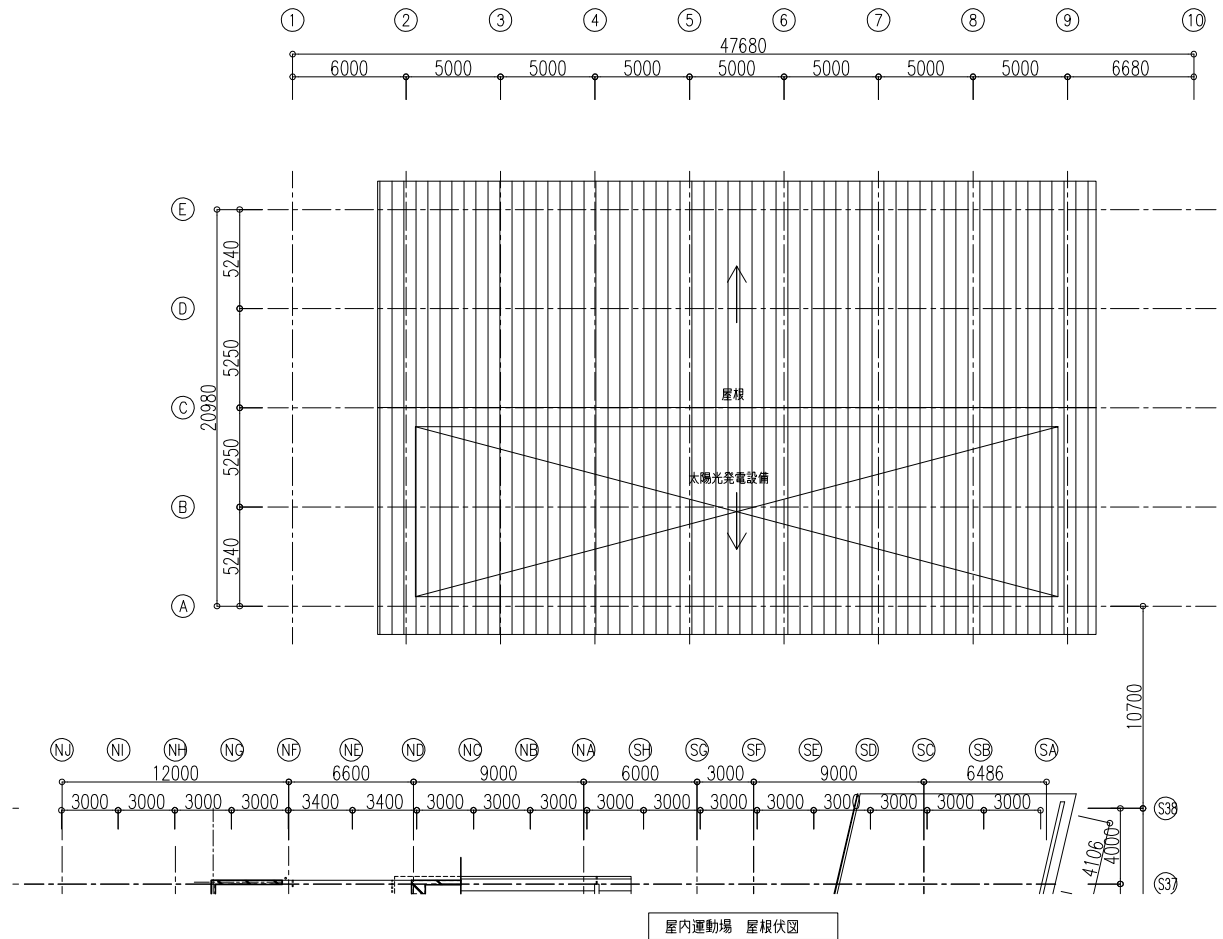




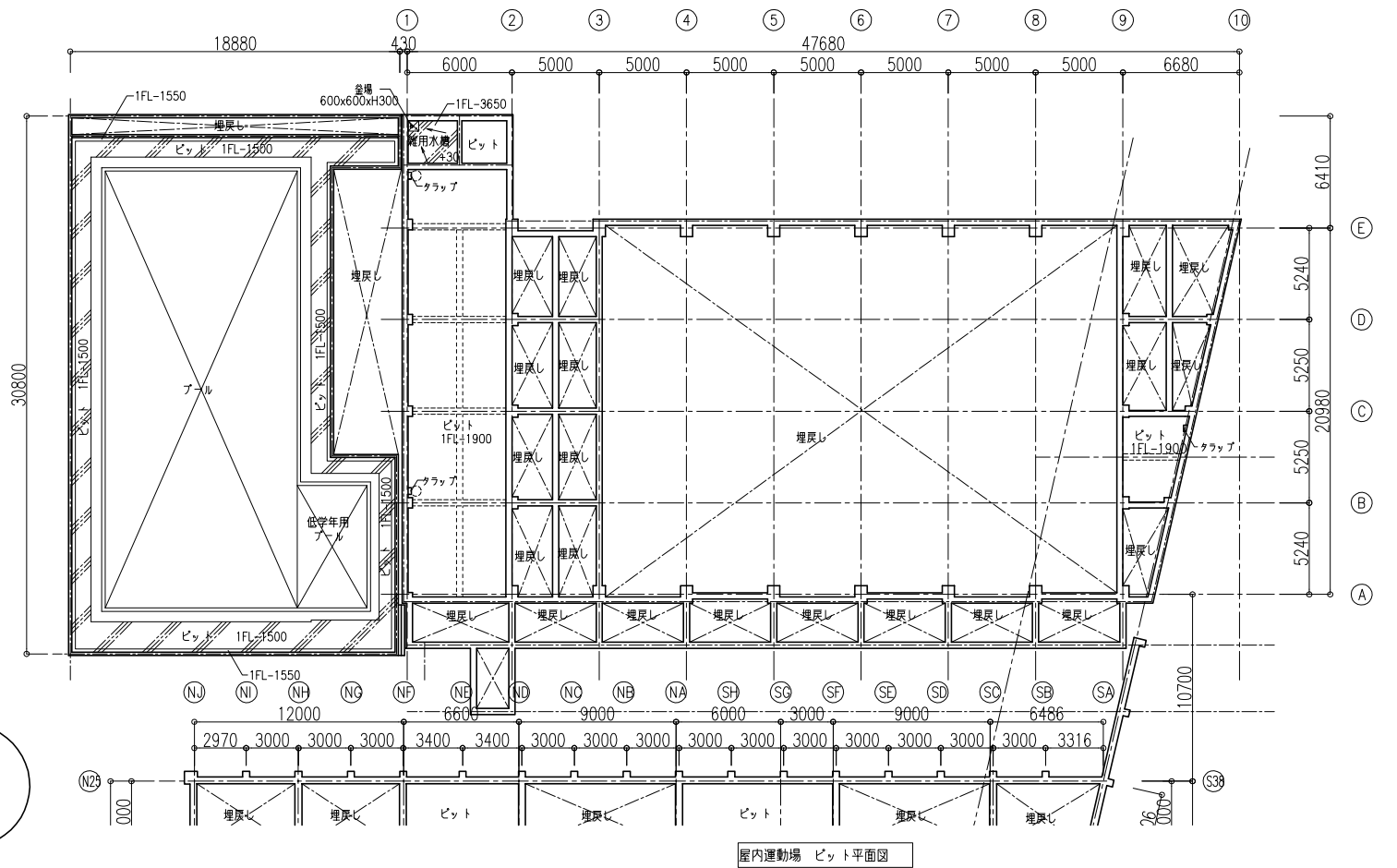
KUME SEKKEI 株式会社 久米設計		2016.02.27	一級建築士 登録番号 260004 矢永 勝美	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号 1130461
設計者 鈴木 浩 深井 重治		建築設備の設計に関し意見を聞いた者:		配置図 (参考図)	図尺 A1版 1/400 A3版 1/800
監修者 榎本 博家、園田 一成		建築設備士 登録番号 第06D1-0049LM号 小島 工			図面番号 EST-06



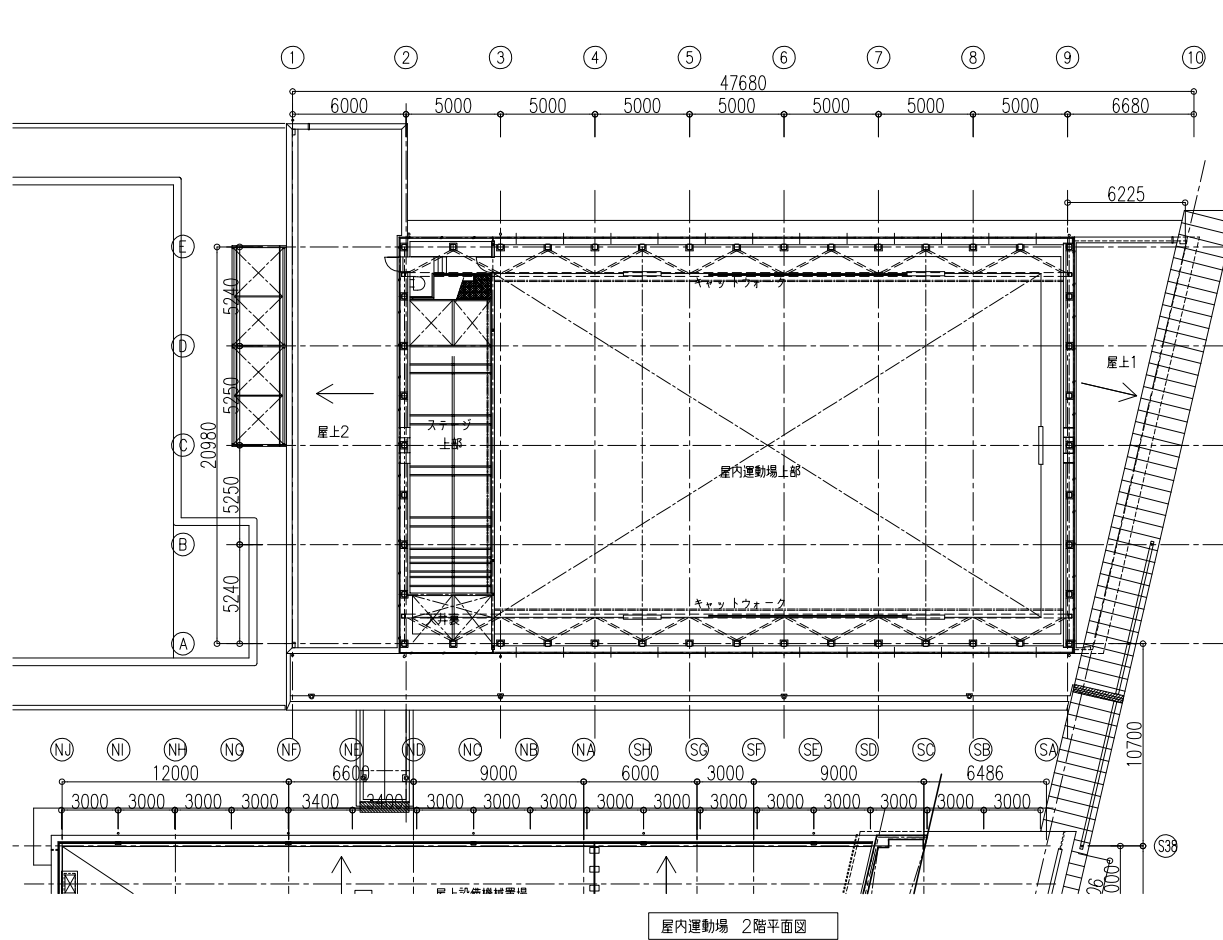
屋内運動場 1階平面図



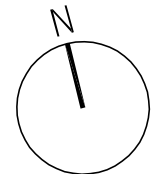
屋内運動場 屋根伏図



屋内運動場 ピット平面図

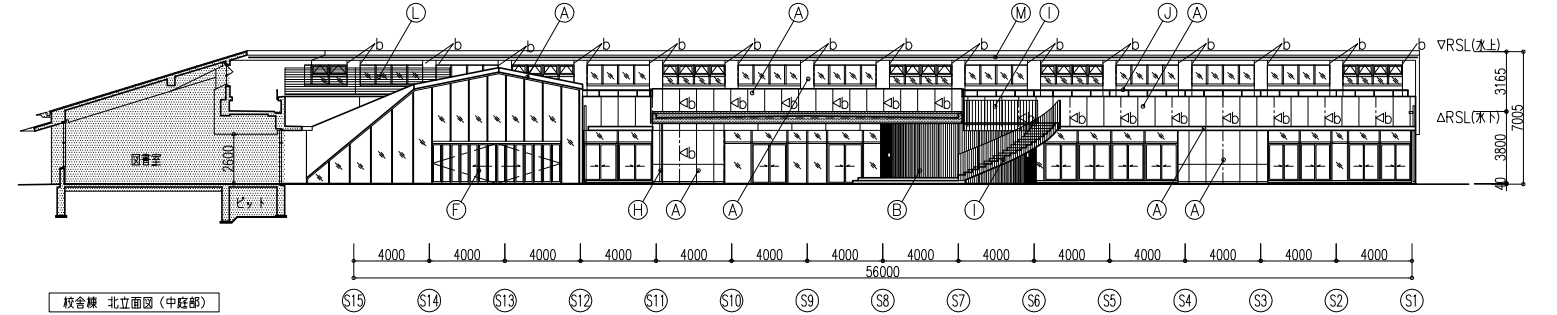
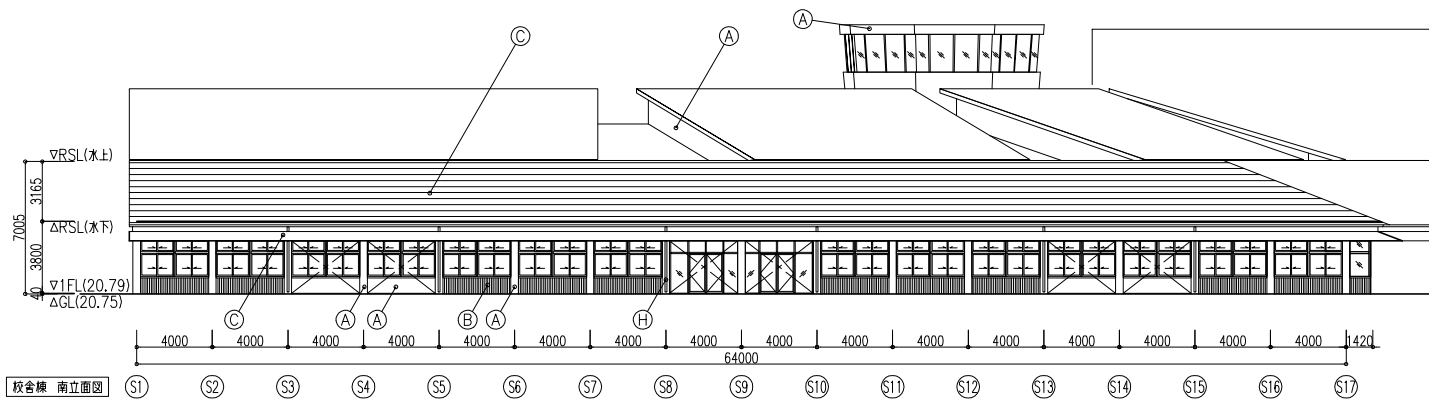


屋内運動場 2階平面図



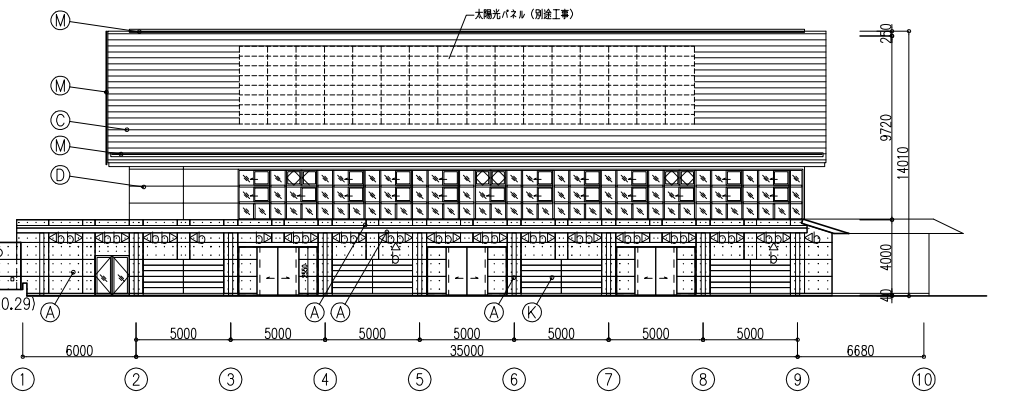
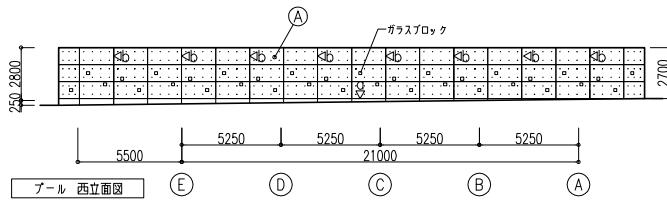
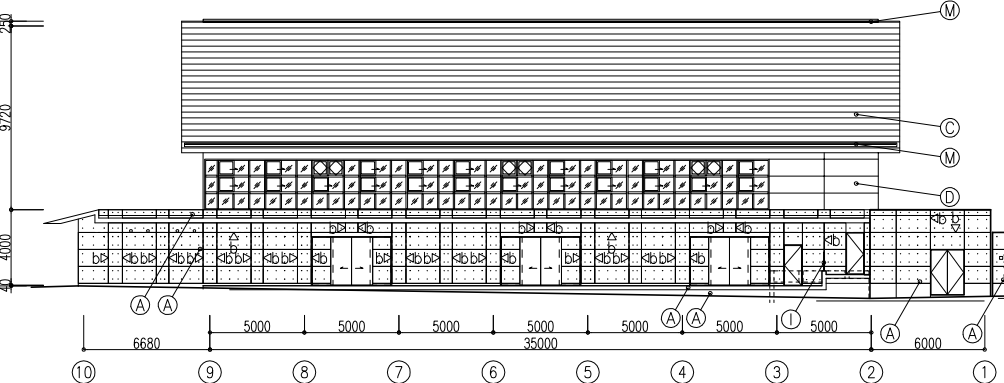
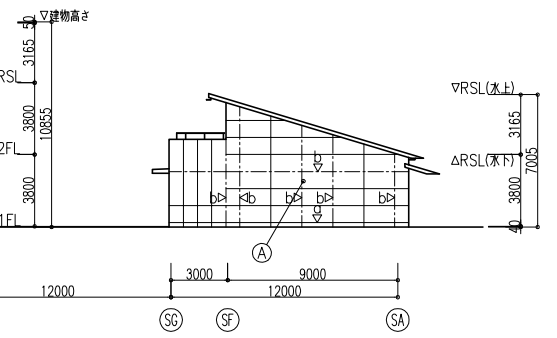
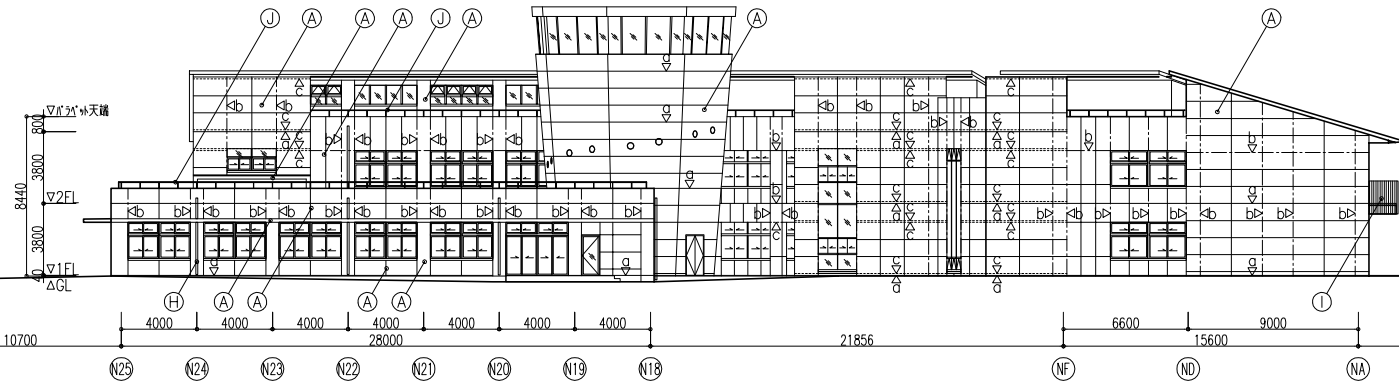
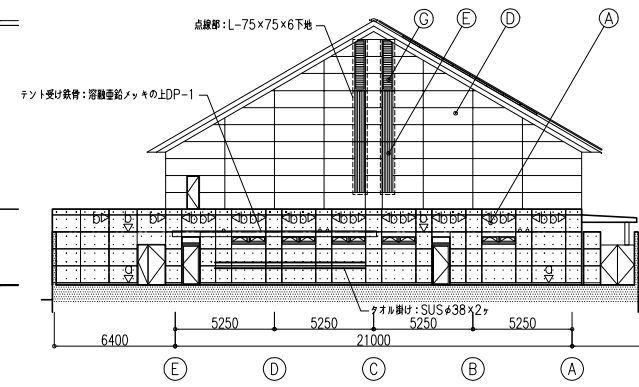
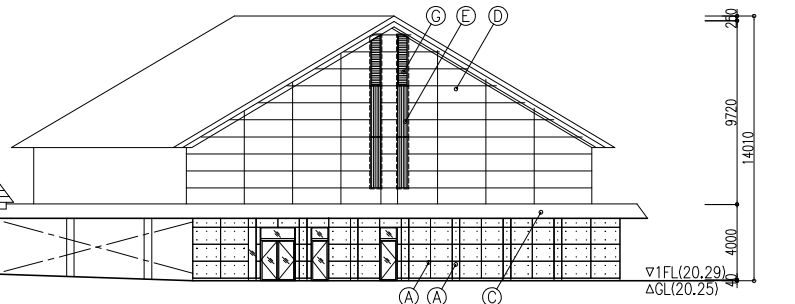
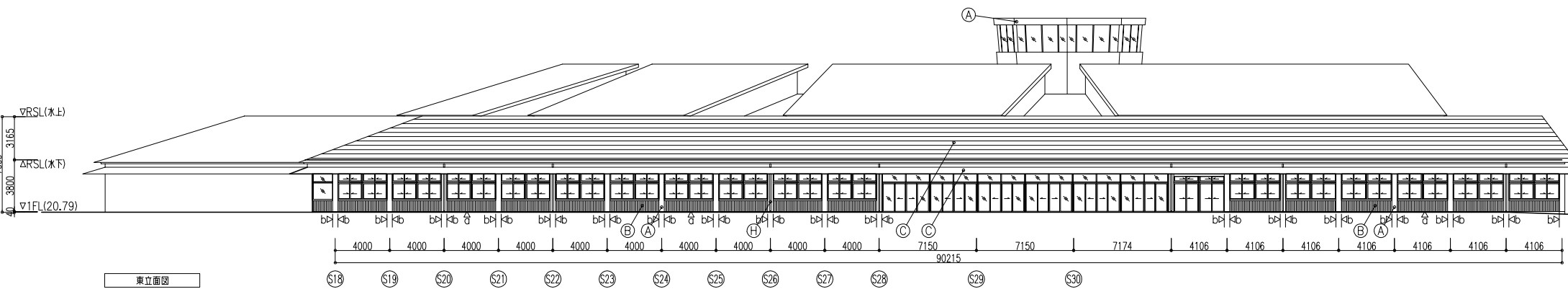
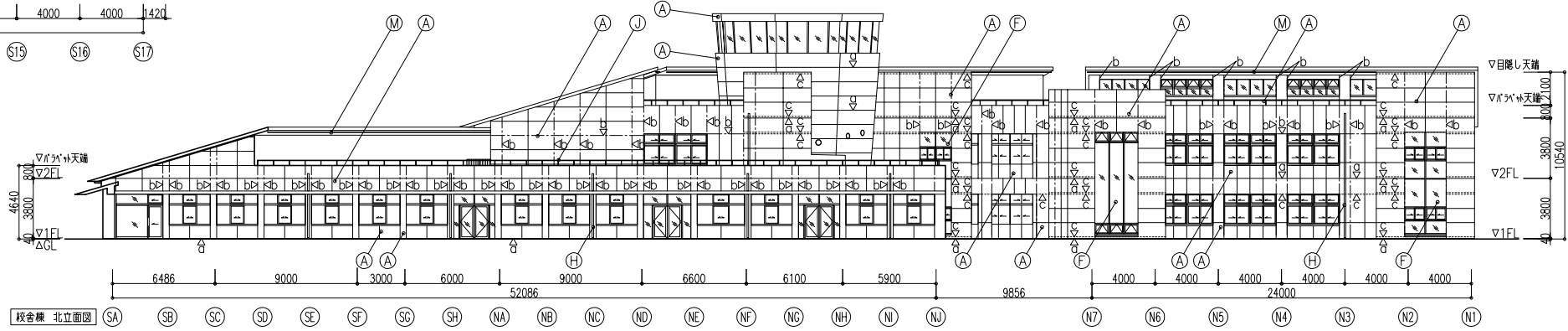
特記 ・ ・ ・ ・ ・	-	KUMESekkei 株式会社 久米設計	日付	2016.02.27	一級建築士 登録番号 260004号 矢永 勝美	名称	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号	1130461
	-		PA	鈴木 浩 深井 憲治					
	-		担当	藤木 博章、國取 一成	建築設備の設計に関し意見を聞いた者：				
	-			建築設備士 登録番号 第06D1-0049LM号 小島 工					
	-								



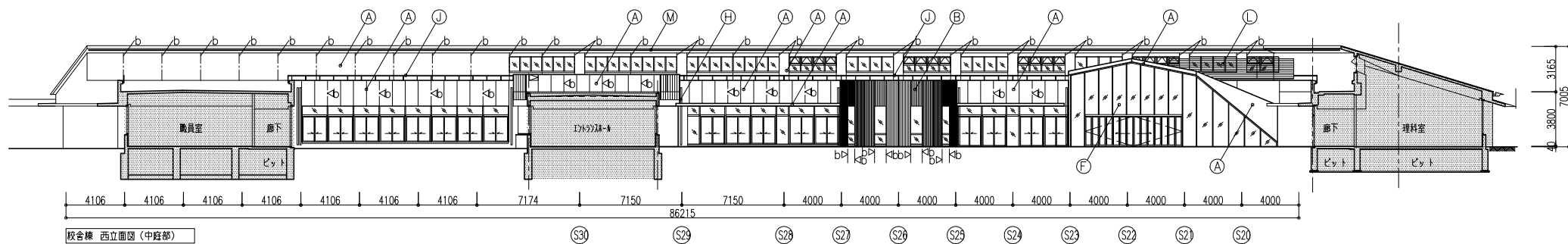


ー凡例ー

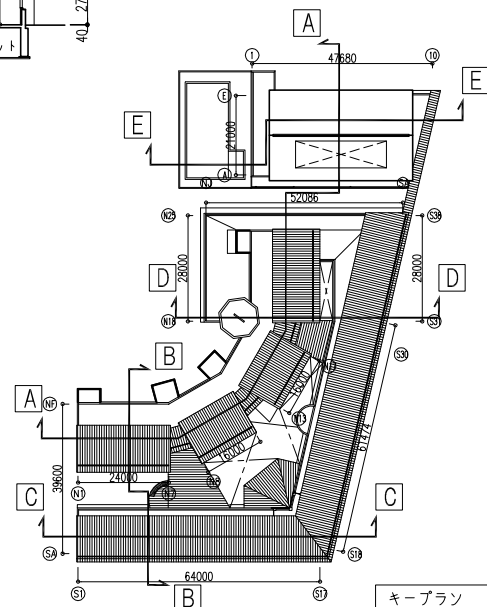
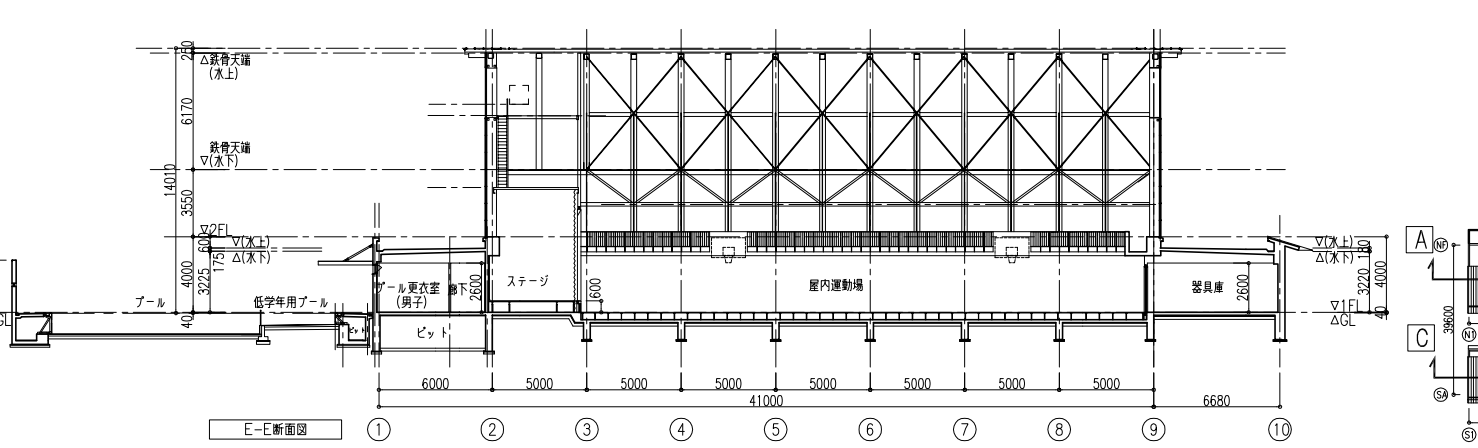
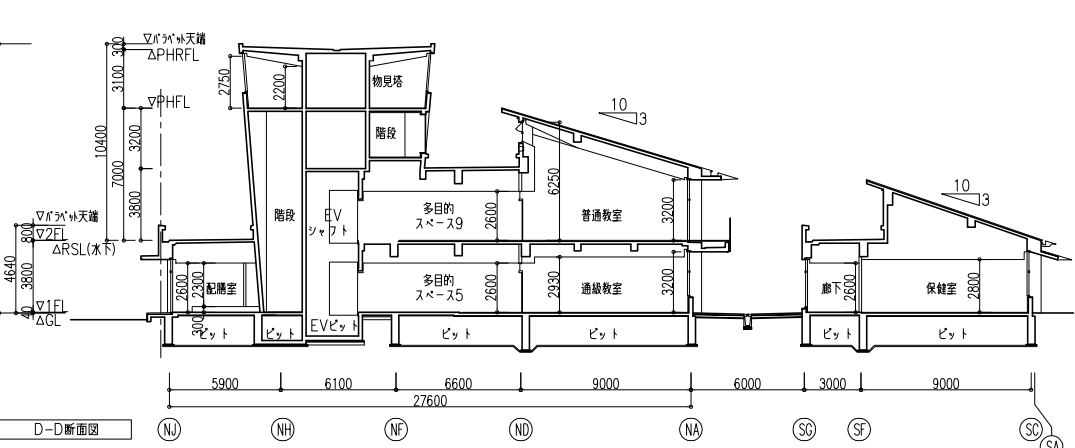
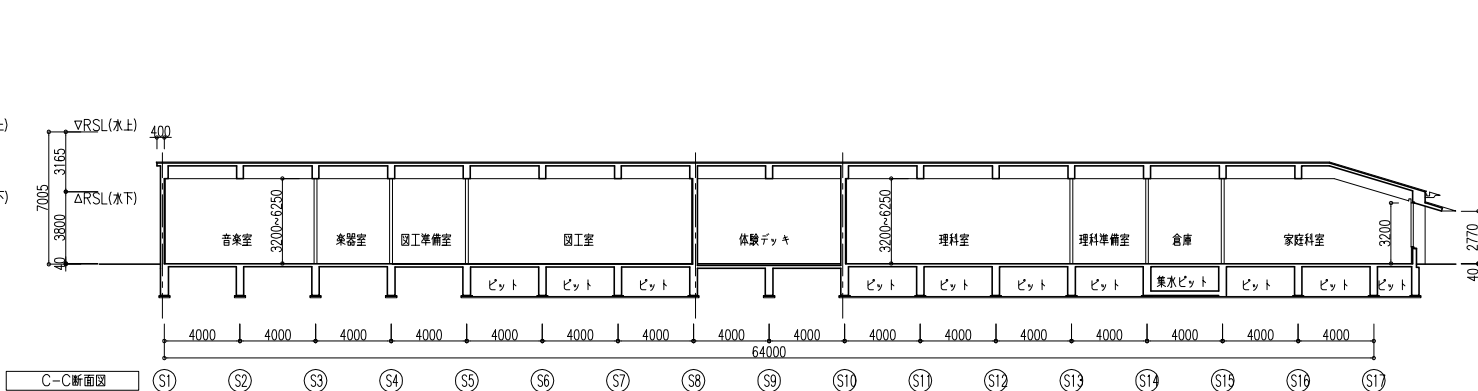
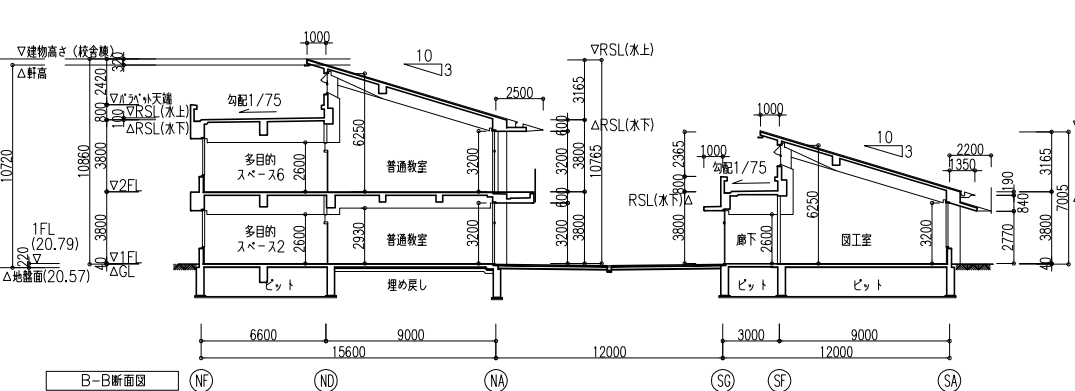
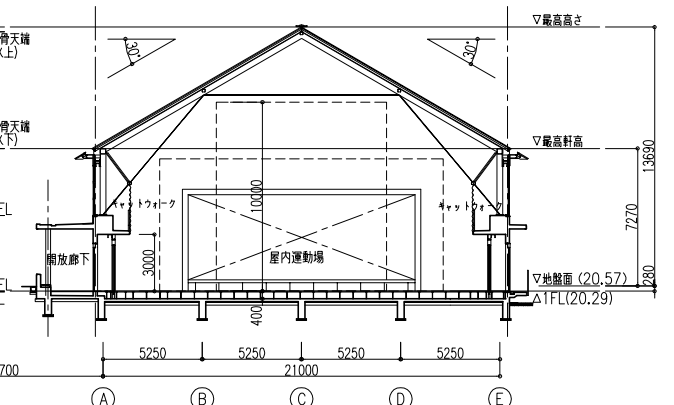
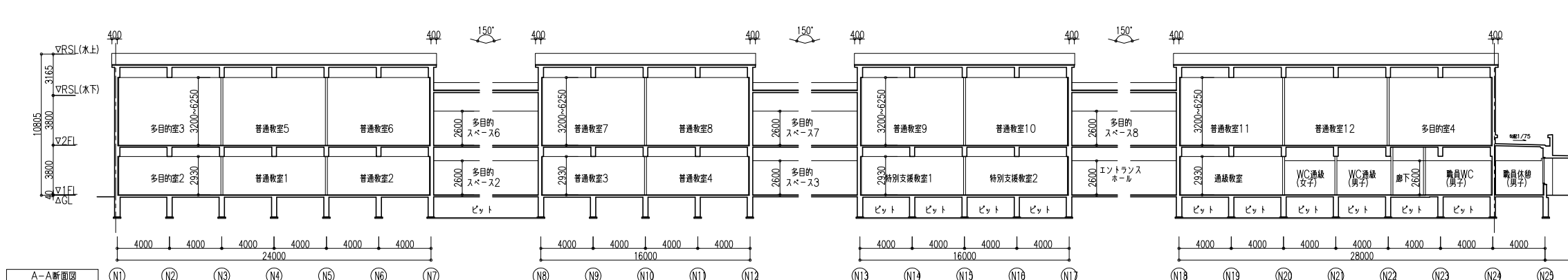
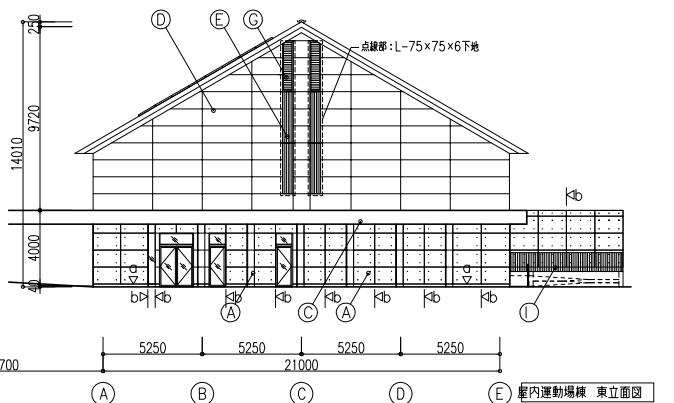
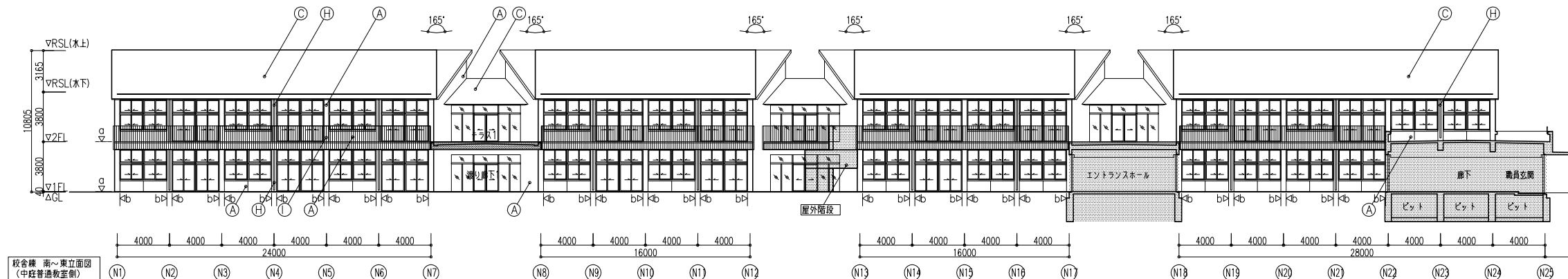
- |  |   |
|--|---|
| (A) コンクリート化粧打放し補修+フッ素樹脂カラークリア塗装          | (I) 手摺1:St-FB 溶融亜鉛メッキのLDP-1 (手摺1・4、手摺A~C) |
| (B) コンクリート化粧打放し補修(リブ付化粧型枠)+フッ素樹脂カラークリア塗装 | (J) 手摺2:SUS φ38 HL                        |
| (C) フッ素ガルバリウム鋼板t0.45横設置                  | (K) 下足入れ:木製+CL(外部用)                       |
| (D) 押出成形セメント板t60(フラットパネル)+フッ素樹脂カラークリア塗装  | (L) 消音ルーバー(鉄骨下地:溶融亜鉛メッキ)                  |
| (E) 押出成形セメント板t60(リブパネル)+フッ素樹脂カラークリア塗装    | (M) SUSメンテナンスパイプ φ50 露面仕上                 |
| (F) アルミカーテンウォール                          | a 打隠目地                                    |
| (G) アルミガリ                                | b 伸縮目地                                    |
| (H) 樋:アルミバンドレスφ100(電解着色)                 | c 化粧目地                                    |



設計者	久米設計	日付	2016.02.27	設計者	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号	1130461
PA	鈴木 浩 深井 憲治	一級建築士 登録番号	260004号 矢永 勝美	図名	立面図1(参考図)	縮尺	A1版1/200 A3版1/400
担当	櫻木 博章 園田 一成	建築設備の設計に関し意見を聞いた者:		図番	立面図1(参考図)	図番	EST-08
		建築設備士 登録番号	第06D1-0049LM号 小島 工				



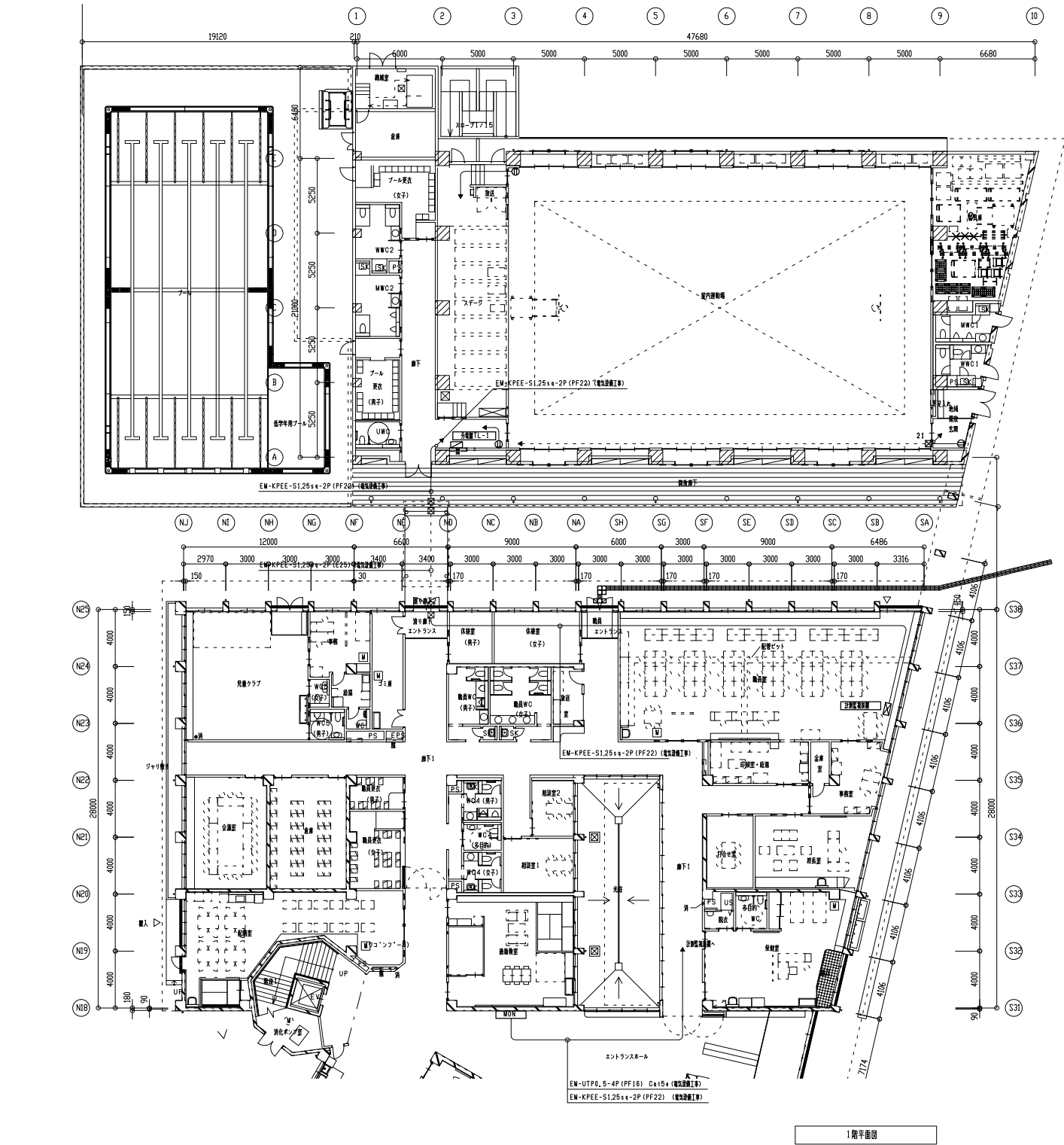
- 凡例—
- |     |                                      |     |                                       |
|-----|--------------------------------------|-----|---------------------------------------|
| (A) | コンクリート化粧打放し補修+フッ素樹脂カラークリア塗装          | (I) | 手摺1:St-FB 溶融亜鉛メッキの上DP-1 (手摺1・4、手摺A〜C) |
| (B) | コンクリート化粧打放し補修(リブ付化粧型枠)+フッ素樹脂カラークリア塗装 | (J) | 手摺2:SUS φ38 HL                        |
| (C) | フッ素ガルバリウム鋼板(0.45mm厚)                 | (K) | 下足入れ:木製+CL (外部用)                      |
| (D) | 押出成形ビニル板(60 (フラットパネル)+フッ素樹脂カラークリア塗装  | (L) | 消音ルーバー (鉄骨下地:溶融亜鉛メッキ)                 |
| (E) | 押出成形ビニル板(60 (リブパネル)+フッ素樹脂カラークリア塗装    | (M) | SUSメンテナンスパイプ φ50 鋼面仕上                 |
| (F) | アルミカーテンウォール                          |     |                                       |
| (G) | アルミガラリ                               | a   | 打越目地                                  |
| (H) | 種:アルミバンドレスφ100 (電解着色)                | b   | 伸縮目地                                  |
|     |                                      | c   | 化粧目地                                  |



特記	-	KUMESKKKI 株式会社 久米設計	日付	2016.02.27	件名	一級建築士 登録番号 260004号 矢永 勝美	作名	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事	設計番号	1130461
	-		PA	鈴木 浩 森 深井 憲治			図面名	阿児町東部地区小学校建設事業 太陽光発電設備工事		
	-		担当	櫻木 博章 國取 一成			断面図	A1版 1/200 A3版 1/400	図面番号	EST-09
	-						立面図2・断面図(参考図)			
	-									







記号	名称	概要
⊖	コンセント 2P1E15A×2	自立運転用(赤色コンセント)
□	中継ボックス	OB又はCB (カ付はカバープレート取付)
⊠	プルボックス	サイズは、添記による。
—	配線・配管	いんべい
—	配線・配管	床いんべい
—	配線・配管	コロガシ
---	配線・配管	露出
—	配線・配管	埋設
—	配線・配管	立下り・素通し・立上り

注記  
1) 特記なき配管・配線は下記による。  
— EM-EEF2, 0-3C (PF22)  
2) プルボックスサイズは下記による。(W付はSUS製防水)  
21...200×200×100

注記  
1) 特記なきは、下記の工事区分とする。  
・ES-01 図記入の機器は、太陽光設備工事とする。  
・配線器具等は、電気設備工事とする。  
・太陽光電池直近の配管は、太陽光設備工事とする。(屋根面に図示55Wは、電気設備工事)  
・上記以外の配管は、電気設備工事とする。  
・延長ケーブル・付属ケーブルは、太陽光設備工事とし、その他のケーブルは電気設備工事とする。

